



盛岡市立 本宮保育園

施工地／盛岡市本宮字宮沢44-4
竣工年月日／平成19年1月
敷地面積／3,227m²
構造／W造地上1階建(準耐火建築物)
延床面積／776.10m²

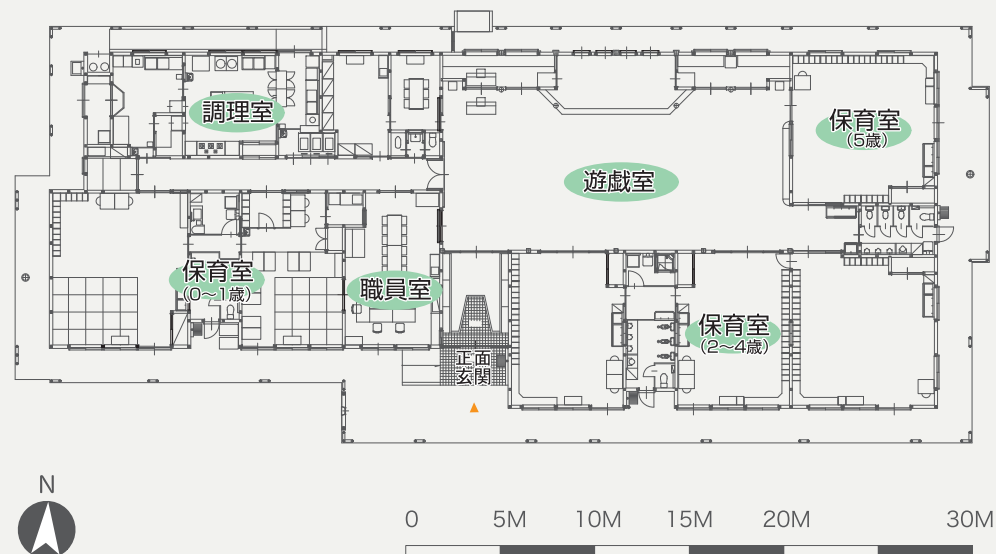
盛岡西南開発に伴い「子どもをとりまく環境」に配慮

近年子どもたちをとりまく環境は、少子化が進み幼児全体が減少する一方、共働き世帯の増加や核家族化などにより乳児保育へのニーズが高まり、保育所への入園を待機する児童が増加しています。このような社会構造の変化に伴い、保育所の新設や改修等の対応が早急に求められています。

本宮保育園の建設地は、盛岡西南開発に伴い日々その環境が変わっております。施設の移転に共なる改築ですが、子どもをとりまく諸々の環境に対し十分配慮し、次の世代を担う子どもたちへの安全で快適な保育環境の整備を目指しました。

平面図 a plan

■ 1階平面図



子どもたちの生活の場としての 施設づくり

自然の光を十分に取込むことを考え、遊戯室には高窓(ハイスайдライト)を設けて明るい室内にしました。また、燃えしろ設計による準耐火建築物構造で木のぬくもりを十分感じられる空間を創造いたしました。



遊戯室(ハイスайдライト)

子どもたちの安全・安心に配慮した 施設づくり

人目に付きやすい位置への門扉の設置や園庭を一望できるように職員室を配置することにより、来園者を早期に確認でき、園児の安全にも目を配れるようにいたしました。また、耐震性や耐火性能の確保も十分に確保するなど、様々な防犯・防災面への配慮をし、皆様が安心して利用していただける環境を目指しました。



遊戯室(大断面構造集成材45分準耐火構造)

使いやすさと配慮した施設づくり

給食を台車にて運搬できる近接配置や随所へのユニバーサルデザインの徹底など、子どもたちの生活の場を提供する職員の方々にも、快適に過ごしていただけるよう機能性にも配慮しました。さらに、経済性にも優れた高機密高断熱化による暖房負担の低減や、自然エネルギーの有効利用を考慮するなど、環境への配慮と共にコストの軽減にもつながりました。



格子戸引違戸(3枚式)

※1 燃えしろ設計：

燃えしろを省いた有効断面を用いて許容応力度計算を行い、表面部分が燃えても構造耐力上支障のないことを確かめる方法であるため、通常より柱を太くすることとなります。

■ 必要な燃えしろの厚さ

柱、梁の部材 (JASに適合するもの)	必要な燃えしろ		
	30分	45分	60分
集成材、単板積層材	25mm	35mm	45mm
製材(含水率15%等)	30mm	45mm	60mm



廊下



正面玄関



0～1歳児保育室



オムツはずし・トイレ・更衣室